



立ち上げサポート

スタートアップ企業



大学時代

情報工学



農業



テレビ関連の仕事

広告代理店

農業未経験



栗田 紘

最初に借りた農地
(耕作放棄地)

開墾

ハウスの建設

栽培開始

栽培の進化



最初に借りた農地
(耕作放棄地)

開墾

ハウスの建設

栽培開始

栽培の進化



最初に借りた農地
(耕作放棄地)

開墾

ハウスの建設

栽培開始

栽培の進化



最初に借りた農地
(耕作放棄地)

開墾

ハウスの建設

栽培開始

栽培の進化



最初に借りた農地
(耕作放棄地)

開墾

ハウスの建設

栽培開始

栽培の進化





 Takashimaya



 MEIDI-YA

ODAKYU



 九州屋
KYUSUYA



農業
未経験
でも

誰でも

いきなり

簡単に

高級野菜を育てられる仕組み



LEAPは

新しい

農業の仕組みである

01

農地とハウスを
効率的に確保



LEAPをはじめる

1

農業を始めたい人は、
「LEAP」に登録。



2

LEAPは、耕作放棄地を
「自治体の認定」を得て
農地として賃貸で確保。



3

農地確保後、登録ユー
ザーに耕作を委託。



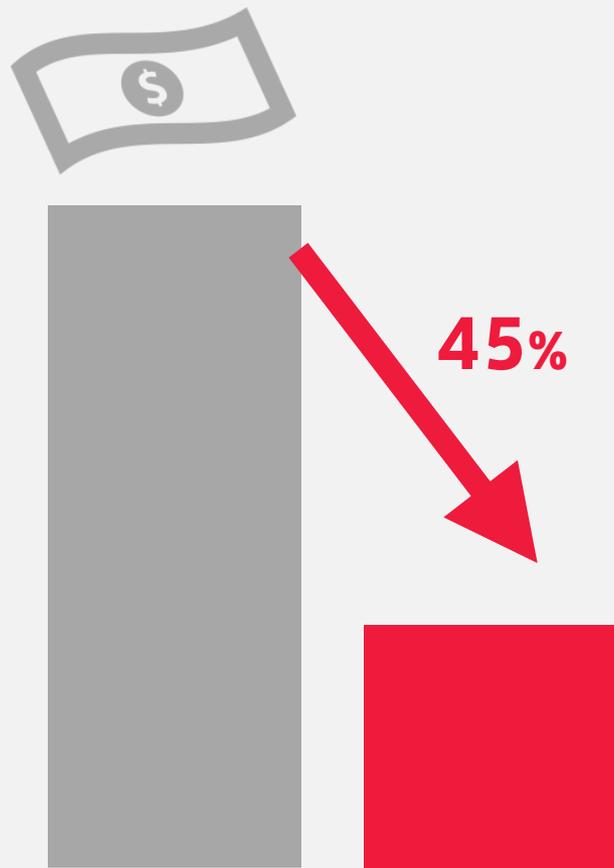


Co-founder

施工職人に修行行脚

**LEAP独自規格の
600㎡ハウスを構築**

既存より45%のコストダウン





02

レシピ化した
栽培方法を提供

栽培方法のポイント

袋栽培



肥培管理



既存と比べて**2.4倍**の**収穫量**を目指していく



栽培の結果は、、、

土に大きく依存

土の物性・理化学性を最適化



Chief Development Officer
土壌学 Ph.D 取得
タジキスタン出身

袋栽培

畑の土を一切使わずに独自の土を袋に入れて苗を植える



いきなり良い環境で栽培スタート

 溶液設計

植物に与える
水と肥料の配合

 時間設計

溶液を与える
量とタイミング

**ファーマーはレシピ通りに
灌水装置を設定するだけでOK**

取扱品目

ゆる
野菜
relax vegetable



ゆる
野菜
relax vegetable

ゆる
野菜
relax vegetable



ゆる
野菜
relax vegetable



ゆる
野菜
relax vegetable



ゆる
野菜
relax vegetable

ゆる
野菜
relax vegetable



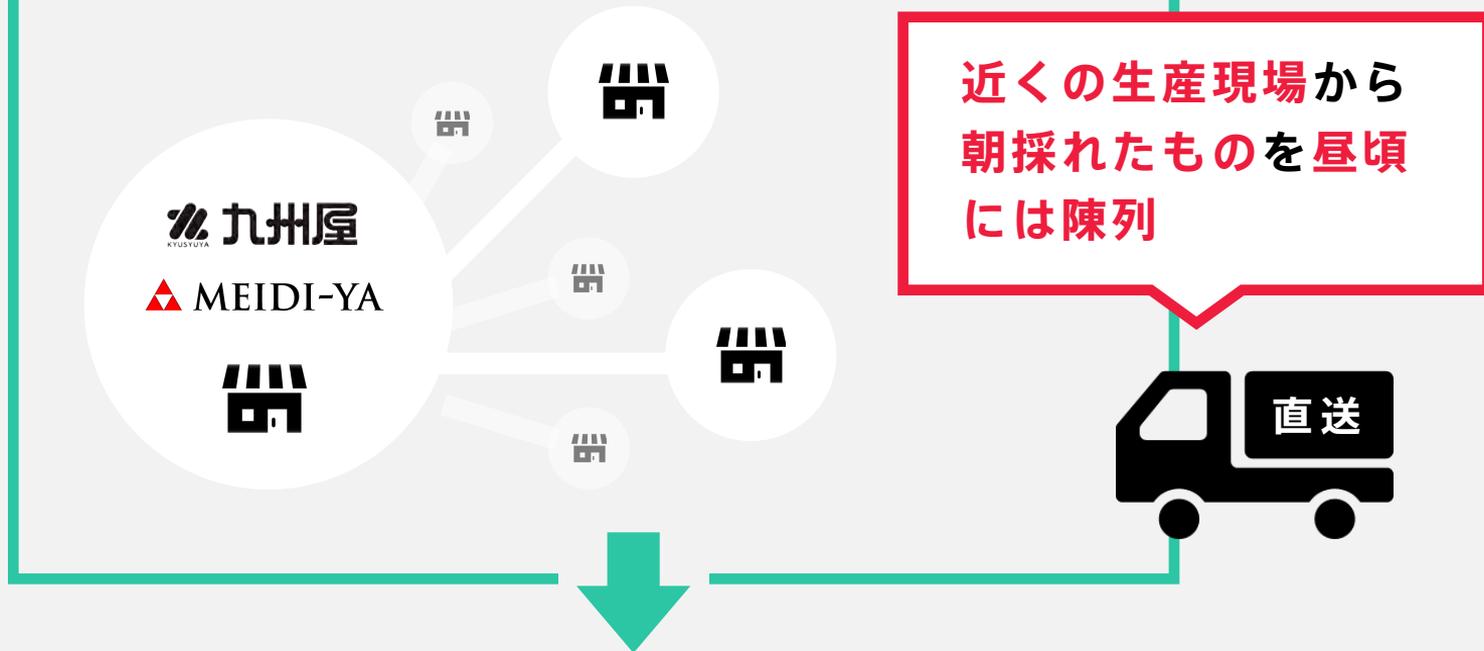


03

ダイレクトな
販売ネットワークを提供

LEAPの販路

高級スーパーだけで**100店舗以上**の
販売ネットワークを構築済



既存と比べて**2倍の単価**を目指していく



04

「LEAP」
ファイナンス

LEAP 初期費用



ハウスの建設



苗や土の導入

最大

1,000万円

初期費用をどうやって集めるのか？

LEAP独自の
ファイナンスメニュー



自己資金不要

低利率



05

「LEAP」

ビジネスモデル

フランチャイズモデル

本部

FCパッケージ

農地

施設

栽培

販路

資金

提供

FC契約

対価

ファーマー (FCメンバー)

原価 + 15%の
手数料を支払う

※ 資金部分除く

フランチャイズプラットフォーム

1



WEB

作業の予習・確認
栽培の現状を確認

2



アプリ

異変やトラブル時に
相談できるアプリ

3



センサー

栽培区画をリアル
タイムでモニタリング

4



生産管理

グローバルGAP標準
生産リスクを最小化

データドリブンのフランチャイズモデル

1

リアルタイムでの
データ把握



2

データを本部側で学習・最適化
エリア・品目を越えたナレッジとして再提供



学習・最適化



FCメンバー

実績

農業
未経験

新卒



23歳 女性



22歳 女性



25歳 男性

収量

LEAP

12,950kg

既存農業

7,000kg



¥700(既存農業)



¥1,200

LEAP

9,200kg

既存農業

6,200kg



¥350(既存農業)



¥500

LEAP

6,300kg

既存農業

4,060kg



¥320(既存農業)



¥720

単価

ファーマーKPI

売上 | 6,363,077 円

コスト | 3,150,000 円

粗利益 | 3,213,077 円

年間の手取り

労働時間 | 1500 時間

時給 2,142 円

フランチャイズモデルのスタート

直営体制で徹底的に研究開発を重ね・・・

フランチャイズモデル

2019年スタート

農業技術の輸出

1

国内の遠隔地
栽培を開始



2

海外メンバー



3

露地袋栽培の検証



LEAPのチーム構造

ファームとビジネスとの両輪

ファームサイド

指導・開発部隊



本部メンバー

実行部隊



FCメンバー

ビジネスサイド(本部)

支援部隊



ビジネス

開発部隊



エンジニア・デザイナー

開発・支援と 実行との両輪



既存の農業

エリア



品目



農家



ノウハウや
経験の共有

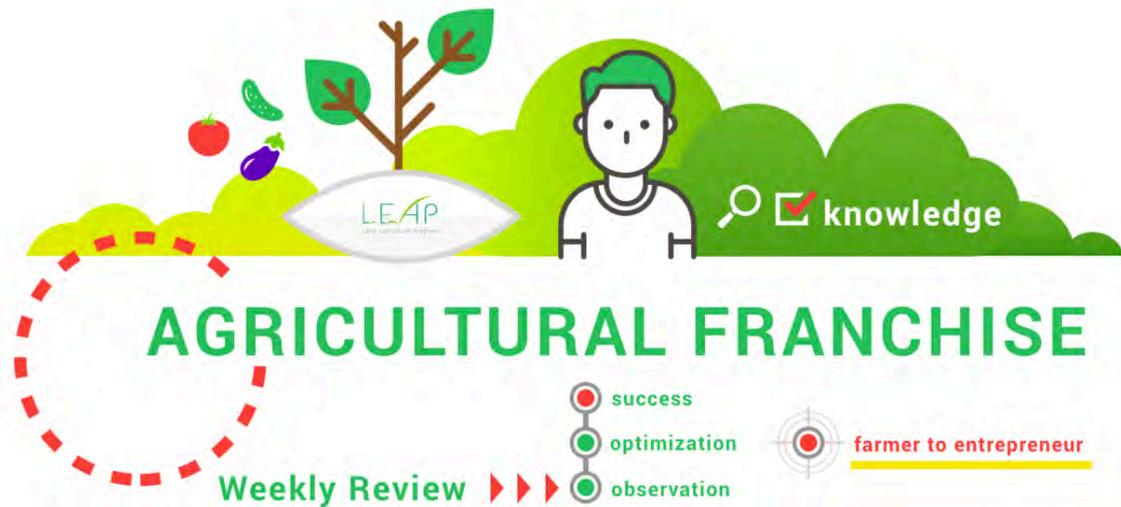
情報の非対称性が前提

これからの農業



ネットワーク化による自律分散

超高齢化社会・東京へのLEAPの貢献



クリーンでグリーン



**畑の土を使わない
クリーンで持続可能な体系**

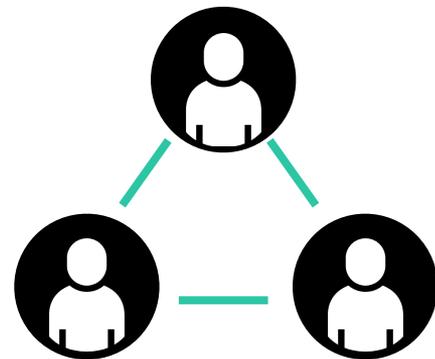


**露地袋栽培の組み入りで
土地緑化を実現**

高校生・大学生 x transformation層



大学院・大学 卒業生 (本部メンバー)
農業高校 卒業生 (FCメンバー)



transformation層 (サポーター)

参考：具体的なケース

本部メンバー



- ・ 東京農工大大学院
 - ・ 修士課程卒業
 - ・ 23歳男性
 - ・ 修論：菌根菌の研究
-
- ・ 額面月額27万円
 - ・ 研究開発部隊兼務



FCメンバー



- ・ 県立中央農業高校卒
 - ・ 成績優良生
 - ・ 18歳女性
-
- ・ 額面月額15万円保証
 - ・ +出来高報酬
 - ・ キュウリハウス担当



サポーター



- ・ 某大手コンビニ社
 - ・ 秘書業務担当
 - ・ 51歳女性
 - ・ 地場農家パート経験
-
- ・ 時給1200円
 - ・ 収穫袋詰め作業担当

当たり前前にグローバル & STEM

海外メンバーが 既に在籍



STEM要素 前提の技術体系



先進的な農業の形@東京



連続性・対称性

清潔性

先進性

LEAPとしての宿題

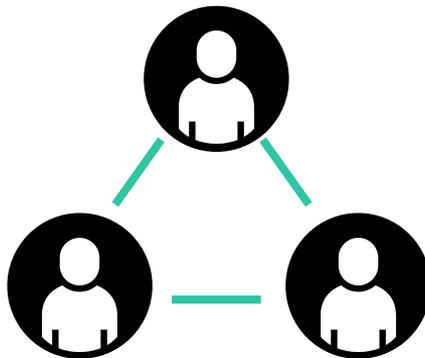
1

農地の確保



2

サポーターの
確保と弾力性



3

メンバーの
住居・拠点

